

事業所名		こども療育研究室 Lulu MINAHARU				支援プログラム（児童発達支援）		作成日		R7	年	12	月	1	日
法人（事業所）理念		地域社会での自立を目標とするこどもたちの発達に寄り添い、専門的な支援を行う療育施設を目指します。													
支援方針		園や家庭で「できること」が増え、地域・社会参加における適応行動につながるよう。こどもたちのライフステージを見据えた支援を行います。													
営業時間		8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容													
本	健康・生活	【健康面】 ・利用する児童が心身ともに健康で安全に生活できる環境を提供します。 ・感染症対策と衛生管理を徹底し様々な感染リスクへの対策を行います。また事業所の清掃・歓喜・消毒を徹底し清潔な環境を提供します。 ・正しい手洗い・うがいなど衛生面の習慣化を促します。声掛けに合わせて視覚支援も行い、楽しく学ぶことができるよう工夫します。 ・バイタルチェックなど健康状況を保護者と共有し、体調変化に留意して日々の支援を行います。 【生活面】 児童が自立した生活習慣を身につけるために「あいさつ」「活動準備」「トイレ」「帰り支度」などを他のお友達と練習できる機会、及び環境を提供いたします。 ①朝のルーティン確立 登園時の健康チェックとリラックスしたスタート(絵本やパズルで気持ちの安定)を促します。 持ち物をじぶんで整理する習慣の確立(バッグの中の整理を支援し自主性を促す)ができるように支援を行います。 ②衣類の着脱サポート 気温や状況に応じた衣類の選択を促し、適切に着替えられるように支援を行います。 ボタンの留め外しや靴の着脱の練習も支援します。 ③トイレトレーニング 児童に合わせた排泄の習慣づけ(時間を決めて誘導の声掛けで成功体験を積み重ねる)を支援いたします。 トイレの流れをイラストで示すなど視覚支援も活用し、自立を促す工夫を行います。 ④清潔習慣の確立 手洗いや手拭きなどの基本習慣を絵カードなどの視覚支援を活用して定着を図ります。 ハンカチやティッシュなどの使い方を学ぶ機会を提供します。													
	運動・感覚	【運動面】 バランスボールや平均台を活用した姿勢保持トレーニング、エアマットを使った体幹トレーニングやバランス感覚を養う遊びの導入などセラピスト支援のもと、実施いたします。 ダンスやリズム遊びなど動きの模倣を促す機会を提供いたします。 ボール投げやキャッチボールを通じて、手と目の協調動作を養う支援を行います。 障害物コースなどを用いたサーキットトレーニングを行い、基礎筋力と体力の工場を図ります。また運動が苦手な児童には達成感が感じられる配慮を行います。 ルールや順番を学び、協力する楽しさや喜びを感じられるような遊びやゲームを提供します。 【感覚面】 感覚遊び(スライム、小麦粉粘土、水遊び)を通じた触覚刺激を促す支援を行います。 感覚が敏感な児童には毛布やクッションなどを活用し、心地よい触覚刺激を提供し安心感を付与します。 ブランコや遊具を活用した揺れや回転の刺激を促すことでバランス感覚の成長を促します。 マッチング課題や絵本の読み聞かせなどを取り入れ、遊びや活動の中で視覚や聴覚の発達を促します。													

